



令和8年度 石垣市立大浜小学校グランドデザイン



チーム大浜小「みんながつくる みんなの学校」

学校教育目標「学び合い、認め合い、伝え合い、努力し合い、心豊かに夢と希望に向かう児童の育成」

年度重点目標◇子どもが主語の活気ある学校づくり◇凡事徹底（大小っ子キラリ5）◇自立した学習者の育成

知：考えて行動する子
自分の考えを持ち、主体的に学ぶ

徳：思いやりのある子
互いを認め、安心して思いを伝える

体：たくましい子
心と体を大切にし
目標に向かって努力する

地域：郷土を愛する子
地域に誇りを持ち、主体的に関わる

資質・能力の育成

◇自分で考え、判断し、自分で決めて行動する子ども◇
～笑顔で生き生きとチャレンジし続ける～

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ①自分の考えを持ち、仲間と学び合いながら主体的に学習に取り組むことができる
- ②お互いの良さを認め合い、安心して思いを伝えることができる
- ③心と体を大切にし、失敗を恐れず目標に向かって努力を続けることができる
- ④礼儀を大切にし、地域行事への参加に喜びや誇りをもつことができる

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①自ら考え、主体的に学ぶ力
- ②互いに認め合い、伝え合う力
- ③目標に向かって粘り強く努力する力
- ④地域に関わり、誇りを持って行動する態度

子供の実態

- 明るく素直で、子どもらしさがある
- 地域行事を楽しみ、積極的に参加する
- あいさつや規範意識に課題が見られる
- 自分の考えや思いを伝えることに苦手意識がある

子供の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導

- 心の居場所づくり 個に応じたきめ細かな支援
- 校内支援体制の充実（ケース会議等）
- 情報共有による組織的支援・対応（SC,SSW,外部機関との連携）

めざす子供の姿

- 自ら考え、主体的に学ぶ子
- 互いに認め合い、伝え合う子
- 心と体を大切にし、挑戦する子
- 礼儀を大切にし、地域とつながる子

何を学ぶか○教育課程の編成

- ①生徒指導4つのポイントを生かした教育活動推進
- ②基礎学力の定着と自主学習・探究学習の往還
- ③学び方を学ぶ
- ④子ども達が自分たちで学校をつくる意識の育成
- ⑤自己調整力の育成（学級活動・児童会活動の活性化）

どのように学ぶか○教育課程の実態

- ①個別最適・協働的な学びと自己決定を通して主体性を育む
- ②単元ゴールを明確にした単元計画と評価の工夫（見通しある学び）
- ③振り返り活動の充実と自己調整学習（計画→実行→振り返り）
- ④話し合い活動や自治活動を通じた主体的な参画
- ⑤ICT活用による可視化と振り返りの習慣化

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ◇支持的風土を基盤とした学級・学年経営の充実
- ◇校内研修の充実による授業力の向上
- ◇学びの連続性を意識した保・こ・小・中の連携
- ◇学力向上に向けた共通実践の徹底
- ◇子どもの姿に基づく授業改善（見取り→改善）
- ◇家庭・地域との協働による教育活動の充実
- ◇自立した学習者を育てる伴走型指導の推進
- ◇学び合い・支え合う同僚性の構築
- ◇組織的指導体制の確立（チーム学校）
- ◇特別支援教育の充実（特支COを核とした校内支援体制）
- ◇学校図書館の活用による学びの充実
- ◇ICTを活用した情報共有と情報発信の充実

安心・安全を守る

- 安心・安全に過ごせる学校環境の整備（安全管理の徹底）
- 安心できる学年・学級経営の充実
- 「自分の命は自分で守る」（安全教育・防災教育）
- 健康な心と体づくりの推進
- いじめ・不登校の未然防止と早期発見・チーム対応

開かれた学校づくり

- 地域の人材、教材を生かした体験学習、キャリア教育の実施
- 家庭、地域との連携、協働（授業参観・行事等公開）
- 積極的な情報発信（学校、学年便り・学校評価・tetoru・学校HP等）
- 働き方改革の推進（働きやすさ・働きがいの向上）